

~ちょっとしたことで、こんなに嬉しい“心のバリアフリー”

“あなた”にもできること

“ヘルプマーク”ご存知ですか？

難病を
抱えています

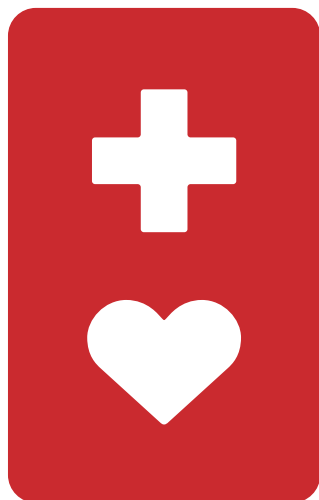
義足を
使用しています

ペースメーカーを
装着しています

突発的なことへの
対応が苦手です

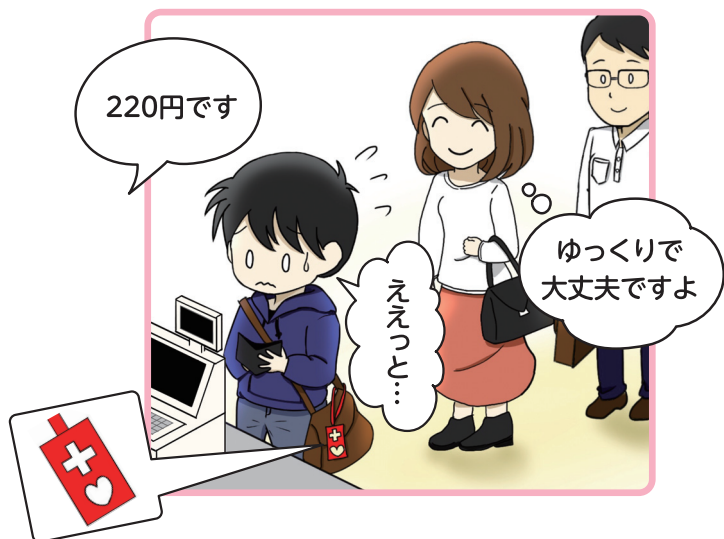
人工股関節を
使用しています

妊娠初期です

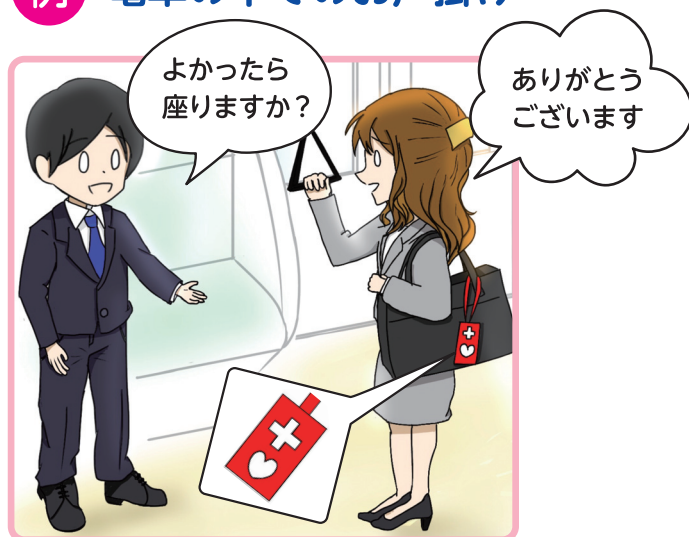


ヘルプマーク

例 レジ待ちの時のあたたかな見守り



例 電車の中でのお声掛け

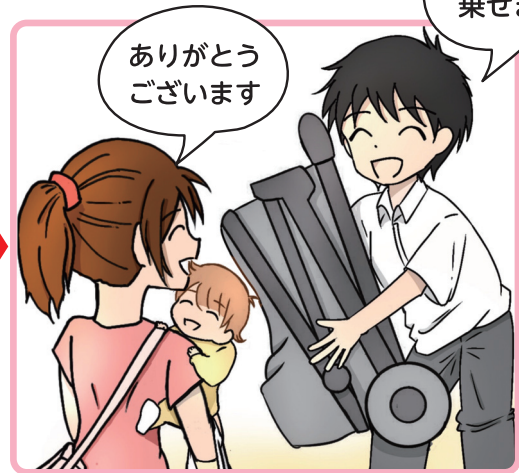
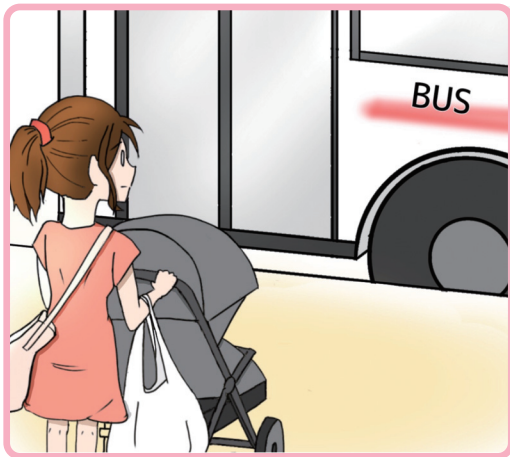


もしも“あなた”が「ヘルプマーク」を身に着けている方を見かけたときは…

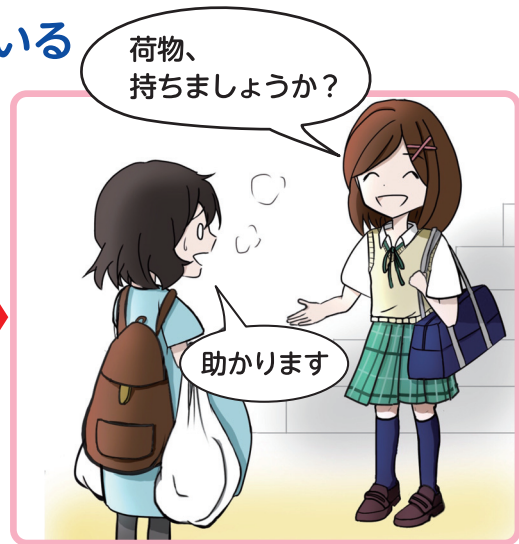
このマークは、外見からは健康に見えても、障害等があることをわかってもらえない、いわゆる「見えない障害等」のある方の援助が得やすくなるためのマークです。支払い等の場面で臨機応変に対応することが苦手な方や、疲れやすかったり、つり革に掴まり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。「ヘルプマーク」を身に着けている方を見かけた場合には、**あたたかな見守りや、援助が必要かどうかお声掛けをするなどのご配慮**をお願いします。

“あなた”の周りで、こんな場面はありませんか？

例 ベビーカーを利用する方がバスを待っている



例 妊産婦の方が重い荷物を持っている



もしも“あなた”が妊産婦の方やベビーカーを利用している方を見かけたら…

妊産婦の方は、お腹が大きくなるとバランスを取りにくくなったり、足元が見えなくなります。階段の昇り降りや電車の乗り降り等の場面では、妊産婦の方やベビーカーを利用する乳幼児連れの方が安全に移動することができるよう、**荷物やベビーカーを持つ手助けなどのご配慮**をお願いします。

思い切って声を掛けてみたけれど、断られてしまった…

お手伝いを申し出たり、電車やバスの車内で席を譲った時、「結構です」と断られることもあります。ですが、その方はたまたまその場面では必要なかったのかもしれませんが、手助けが不要な場合もあるかもしれませんが、それは皆さんの行動があってこそわかることです。

たとえ断られても、“あなた”の行動は、周囲の人が「見習いたい」と思うきっかけにもなるわ。



同じような機会があればぜひまた声を掛けてみてくださいね。

“あなた”の心遣いで“ありがとう”が生まれます